

令和2年度 英語学習実施状況について

金沢市立大徳小学校

①小学6年生 英語学習についてアンケート（令和3年1月実施）

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	17.0	41.0	30.0	12.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	62.0	33.0	3.0	3.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	35.0	51.0	10.0	4.0	0.0
問4	英語の授業の内容がわかる。	39.0	50.0	7.0	3.0	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	19.0	48.0	25.0	8.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	16.0	48.0	28.0	7.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	95.0	2.0	1.0	1.0	1.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	93.0	4.0	1.0	2.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	75.0	22.0	1.0	2.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	36.0	42.0	20.0	3.0	0.0

②来年度に向けての指導改善の具体策（令和3年2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・年間の見通しを持って、子どもの既習や実態を把握して、軽重をつけて授業実践を行う。
- ・できれば外国の方との交流を行って、英語を使う楽しさを体験させる。
- ・一定の期間ごとに子どもの意識アンケートを行い、困り感などを把握して授業改善を行う。

③学校関係者評価

・英語の勉強が大切だと考えている児童の割合は高いが、英語の勉強が好きだと回答している児童が半分強である。また、先生や友だちに英語で質問したり、質問に対して英語で答えたりできるという割合が低い。児童が授業で学んだことを使って、実際に英語でコミュニケーションを取れるようになると、学習する楽しさを実感でき、「英語の勉強が好き」という割合が増えるのではないかと考えられる。

・児童が中学校に進学した際に、文法が理解できず苦手意識を持つ児童が多くいる。小学校の授業でも、児童が文の構造をある程度理解し、中学校に入ったときにスムーズに学習に取り組めるような工夫があると良い。